

教育委員会事務局教育部の「運営方針と目標」（令和元年度）

教育部長兼教育部調整担当部長 宮崎 望

1 部の使命・目標に関する認識

部の使命・目標

◇「みんなが大切にされる教育」の実現、「人間力」と「社会力」を兼ね備えた子どもの育成をめざし、コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育を柱に、学校・家庭・地域との連携・協働による学校教育の推進を図ります。

◇「地域とともに創る学校」から「学校を核とするコミュニティづくり」を志向し、学校をプラットフォームとして様々な地域の人財がそこで活動し、学び、その経験をもとに地域に戻って活躍するといった、人と人との交流や循環などを通して、地域コミュニティが醸成される「スクール・コミュニティ」の創造に向けて取り組みを進めます。

◇ともに学び、学びを活かし、学びの成果や絆が地域に受け継がれていく心豊かな社会の実現をめざします。

◇児童・生徒の学習の場であるとともに、地域の防災拠点としての役割を担う学校施設について、防災都市づくりの視点を踏まえた、安全で快適な学校環境の整備を計画的に進めます。

各課の役割

教育部は、総務課、学務課、指導課で構成する事務局と、図書館などの所管施設で構成され、それぞれ、①教育委員会会議、委員会内人事・予算等の総合調整、川上郷自然の村管理運営、教育施設の営繕・維持管理、②通学区域、学級編制、学校給食・保健運営、教育相談、就学相談、③学校の教育指導の援助、教職員人事、教科書採択、④図書館での資料収集・貸出、読書活動の推進などの役割を担っています。

2 部の経営資源（令和元年8月1日現在）

① 職員数

正規職員 130 人／990 人 比率 13.1% 嘱託職員 220 人／501 人 比率 43.9%

② 予算規模

令和元年度教育委員会事務局予算額（6月補正後）

一般会計 4,224,924,000 円

そのうち人件費を除く事業費の予算額

一般会計 3,698,882,000 円

3 主要事業と目標

1 コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育の充実と発展（指導課）

持続可能なコミュニティ・スクールの充実と発展をめざし、コミュニティ・スクール委員会の機能の充実と、より一体感のある学園運営や教育活動の充実・発展を図ります。「コミュニティ・スクール推進員（地域学校協働活動推進員）」の配置を3学園から5学園に拡充し、学校と学校支援ボランティアとの調整機能を強化しながら、地域人財の活躍による学校支援活動等の更なる充実を図ります。

新学習指導要領を踏まえて改訂した「小・中一貫カリキュラム」の周知・活用を図るとともに、地域特性に応じた「学園版カリキュラム」を全学園で作成し、効果的な活用を図ることにより、連続性と系統性のある教育活動を推進します。

さらに、三鷹の森学園、三鷹中央学園、鷹南学園の3学園が開園10周年を迎えることから、記念事業を実施し、これまでのあゆみと成果を振り返るとともに、学園の未来に向けて発信する機会とします。

【目標指標】

- ・「コミュニティ・スクール推進員（地域学校協働活動推進員）」の拡充配置による学校と学校支援ボランティアとの調整機能の強化及び学校支援ボランティアの登録者数・参加者数の増加
- ・市立小学校卒業者の市立中学校への進学者数の割合の増加
- ・「学園版カリキュラム」の作成
- ・3学園合同による開園10周年記念事業の実施と記念誌の作成

2 小・中一貫カリキュラムを生かした知・徳・体の調和のとれた教育内容の充実（指導課）

改訂した「小・中一貫カリキュラム」を有効に活用し、子どもたちの学習のつまずきの解消を図り、見通しをもった質の高い授業を目指すとともに、「主体的・対話的で深い学び」の視点を活用した指導の改善を図ります。

今年度から先行実施を行う小学校外国語（英語）について、小学校教員の指導力を高めるため、教員研修の充実を図ります。また、みたか地域未来塾事業を全学園に拡充し、学校・家庭・地域が協働で教育支援に取り組む仕組みづくりを推進しながら、学習習慣の定着と基礎学力の向上を図ります。

道徳の授業を中心に「考え、議論する」学習活動の充実を図り、道徳的な判断力や実践意欲を育みます。道徳教育推進委員会において質の高い「特別の教科 道徳」の授業を市内全校で共有し、児童・生徒の豊かな心を育てます。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を重要な機会と捉え、各学校で多彩な取り組みを工夫し、オリンピック・パラリンピック教育を教科横断的に展開するなど、一人ひとりの体力の向上を図るための取り組みを進めます。

【目標指標】

- ・全国学力調査結果分析及び小・中一貫カリキュラムを活用した学習指導の改善の全校実施
- ・新学習指導要領移行に伴う小学校教科書採択の適正な実施
- ・中学校外国語（英語）教員の専門性を生かした小学校教員の外国語（英語）指導力向上
- ・みたか地域未来塾事業の全市展開と参加児童・生徒、保護者へのアンケートの実施
- ・道徳教育推進委員会における効果的指導に係る実践の共有
- ・オリンピック・パラリンピック教育推進委員会による先進事例の共有と体力・運動能力調査等の結果を活用した各学校の取り組みの充実・改善

3 教育支援の充実と「校内通級教室」の拡大、「適応支援教室（仮称）」設置の検討・準備（学務課、指導課）

市内全小学校で巡回指導を開始した「校内通級教室」について、継続した支援と生徒の特性に応じた指導と支援を行うため、中学校全7校への導入に向けて施設整備など環境整備を進めるとともに、「適応支援教室（仮称）」の設置に向けた検討と準備を進めます。また、対象児童の増加に伴い、小学校の「校内通級教室」の指導体制の強化を図るため、第五小学校に新たな拠点校を整備するとともに、通級・就学相談の増加に対応するため、相談体制を拡充します。

教育相談員、就学相談員、市配置のスクールカウンセラー（スクールソーシャルワーカー）による小・中一貫した相談や支援の継続による児童・生徒や保護者への的確な支援を推進し、子ども家庭支援センターなど福祉・保健・医療等関係機関と連携したスクールソーシャルワーク機能のより一層の強化を図ります。

【目標指標】

- ・「校内通級教室」の中学校全7校への設置に向けた環境整備と巡回指導準備
- ・「適応支援教室（仮称）」の設置に向けた検討と準備
- ・第五小学校への「校内通級教室」拠点校の設置
- ・スクールソーシャルワーカーによる児童・生徒や保護者への的確な支援の強化

4 ライフ・ワーク・バランスと教育の質の向上を目指す学校における働き方改革の推進（指導課）

「三鷹市立学校における働き方改革プラン」に基づき、国や東京都の施策と連動しながら、教員一人ひとりの心身の健康保持と、誇りとやりがいを持って職務に従事できる環境の整備を検証・拡充し、市の学校教育の質の向上を図ります。

①教員が担うべき業務に専念できる環境の整備②教員の意識改革③「三鷹市立中学校における運動部活動の方針」に基づく部活動の適正化の3本を柱とした諸施策を、地域・保護者の理解を得ながら学校とともに総合的に推進し、多忙化を解消するとともに、ライフ・ワーク・バランスのさらなる推進を図ります。教員の最も重要な職務である児童・生徒の教育に力を注げる職務環境を整え、児童・生徒の学習をはじめとした学校生活のより一層の充実を図ります。

【目標指標】

- ・スクール・サポート・スタッフ事業の拡充実施をはじめとしたチーム学校による業務軽減に向けた支援の推進
- ・校務支援システムを活用した在校時間の客観的把握によるタイムマネジメント力の向上、学校閉庁日の拡充や退校目標時間の設定等によるライフ・ワーク・バランスの意識醸成など教員の意識改革の推進
- ・部活動指導員の配置拡充、部活動休養日の設定等「三鷹市立中学校における運動部活動の方針」に基づく部活動の適正な実施と文化庁のガイドライン等を踏まえた文化部活動の方針の策定

5 防災都市づくりに向けた安全で快適な学校環境の整備（総務課）

児童・生徒が長時間の学校生活を過ごすとともに、災害発生時には地域の防災拠点ともなる学校施設について、防災都市づくりの視点を踏まえた、安全で快適な学校環境の整備を進めます。

市立小・中学校施設の長寿命化及び防災機能強化を図るため、長寿命化改修工事を計画的に推進します。第二小学校と第一中学校の改修Ⅱ期工事を実施するとともに、今後の改修を計画的かつ効果的に進めていくため、平成30年度に実施した老朽化対策調査結果を基礎資料とし、防災都市づくりに向けた全庁的な検討を踏まえながら、学校施設長寿命化計画（仮称）の策定に取り組みます。

学校トイレの洋式化、床のドライ化、バリアフリー化の推進として、中原小学校、井口小学校及び第七中学校の校舎等、第四小学校及び第六小学校の体育館の改修工事を実施するとともに、老朽化した空調設備の更新として、第三中学校の改修Ⅰ期工事と、高山小学校の改修に向けた設計業務を行います。さらに、夏季の熱中症対策を含めた環境整備、避難所としての機能強化を図るため、第三小学校体育館へのスポット型空調設備機器の設置と、第五中学校体育館への空調設備整備に向けた設計等業務に取り組みます。

なお、各種工事の実施に当たっては、国、東京都の補助制度を活用し、財源確保に努めます。

【目標指標】

- ・第二小学校及び第一中学校の長寿命化改修Ⅱ期工事の実施
- ・学校施設長寿命化計画（仮称）の策定に向けた取り組みの推進
- ・中原小学校（校舎Ⅰ期）、井口小学校（校舎・体育館）、第七中学校（校舎）、第四小学校（体育館）、第六小学校（体育館）のトイレ改修工事の実施
- ・第三中学校空調設備改修Ⅰ期工事、高山小学校空調設備改修工事設計業務の実施
- ・第三小学校体育館スポット型空調設備機器の設置（リース契約）
- ・第五中学校体育館空調設備整備工事設計等業務の実施

6 住宅開発の動向等を勘案した児童・生徒数の増減への適切な対応

（総務課、学務課）

全市域を対象とした児童・生徒数及び学級数の将来推計の適切な更新を行い、中・長期的な課題を抽出しながら適正な学習環境の確保を図ります。

下連雀五丁目第二地区（日本無線株式会社三鷹製作所跡地）開発事業への対応方針に基づき、通学区域の変更について、引き続き、関係する学校の保護者や地域住民等への周知に努めるとともに、関係機関等と連携しながら、新たな通学路の指定と安全対策の検討・整備を進めます。

【目標指標】

- ・児童・生徒数及び学級数の将来推計の更新と児童数増加に対する適正な学習環境の整備
- ・通学区域の変更に伴う通学路の安全対策の検討と実施

7 学校給食の充実と効率的な運営の推進及び市内産野菜の活用（学務課）

安全でおいしい学校給食の充実と効率的な運営を図るため、新たに第四中学校で給食調理業務の民間委託を開始します。また、令和2年度から新規委託予定の第三小学校と、5年目の更新時期を迎える第一小学校、中原小学校の事業者選定を行います。

食育の推進、地産地消の促進の一環として、関係部署等との連携により、小・中学校と保育園において「三鷹産野菜の日」を公費負担により年2回実施するとともに、市、JA東京むさし、教育委員会の三者での協議を進め、市内産野菜の使用率のさらなる向上を図ります。

【目標指標】

- ・第四中学校での給食調理業務委託の開始
- ・令和2年度からの新規1校の委託業務開始及び既委託校2校の事業者更新に向けた準備（令和2年4月時点委託校：計19校）
- ・公費負担による「三鷹産野菜の日」の実施（年2回）
- ・市内産野菜の使用率向上に向けた取り組みの検討・実施

8 ICTを活用した教育内容の充実と学校図書館システムの更新（総務課、指導課）

平成30年度の教育ネットワークシステム更新により導入したタブレット端末等の利用促進を図るとともに、今後のICT環境を見据え、ICT活用推進モデル校の拡充等により、「主体的・対話的で深い学び」を実現するICTの効果的な活用に向けた教員研修や授業研究を推進し、教育内容の充実を図ります。

校務支援システムについては、出退勤情報やタッチパネル端末を利用した教職員の在校時間の把握、情報共有機能の充実、操作性の向上等により、教職員の校務事務の効率化を図ります。

また、現行の学校図書館システムについて、稼働から5年を経過し令和2年度にサポートが終了することから、機能強化を含めたシステム更新を行います。

【目標指標】

- ・ICT活用推進モデル校の拡充と教員研修・授業研究の実施
- ・校務支援システムの活用による校務事務の効率化の推進
- ・学校図書館システムの更新

9 図書館システムの更新に向けた取り組み（図書館）

現行の図書館システムは平成27年9月に稼働を開始し、令和2年度に機器等のリース期間満了を迎えることから、一層の利用者満足度の向上を図ることを目的として、システム更新に向けた準備を行います。システムの更新に当たっては、利用者の利便性向上に加え、情報セキュリティの管理をより適切に行うために、インターネット環境と業務環境のネットワークの分離を行うなど、市における市内LANと同等のセキュリティの強化を図ります。

【目標指標】

- ・新図書館システム事業者の選定及び契約締結
- ・新システム設計及び構築に係る事業者との打合せの実施と設計書類の完成
- ・新図書館システム機器及びソフトウェアの調達及び運用保守業務契約の締結

10 「教育ビジョン 2022（第 1 次改定）」等の改定

（総務課、学務課、指導課、図書館）

「教育ビジョン 2022」、「教育支援プラン 2022」及び「みたか子ども読書プラン 2022」の第 2 次改定を行います。改定に当たっては、法改正や学習指導要領の改訂等国の制度改正、関係する審議会等における協議内容を踏まえるととも、第 4 次基本計画の第 2 次改定との連動・整合を図ります。

また、多様な子どもたち一人ひとりの能力や適性に応じて個別最適化された教育の実現をめざし、これからの時代に求められる教育のあり方について、「三鷹教育・子育て研究所」の活用等を図りながら、準備組織の設置を含め調査研究に取り組みます。

【目標指標】

- ・関係する審議会等における協議
- ・「教育ビジョン 2022」、「教育支援プラン 2022」及び「みたか子ども読書プラン 2022」の第 2 次改定